

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0104	政策名	観光の振興	施策主管課	観光課	課長名	藤井 淳
------	------	-----	-------	-------	-----	-----	------

政策の目指す姿 国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています

施策No	01	施策名	観光の魅力向上	関係課名	大迫・石鳥谷・東和地域振興課
------	----	-----	---------	------	----------------

施策の目指す姿 花巻にしかない魅力ある観光資源がたくさんあります

現状と課題

【現状】  
 ・市内には12の温泉群があり、大規模な施設から小規模な施設まで、個性の異なる様々な温泉宿泊施設が多くあります。  
 ・当市は、宮沢賢治、新渡戸稲造、高村光太郎、萬鉄五郎など、全国的に有名な偉人のゆかりの地であり、それぞれの記念館などの施設があります。  
 ・世界文化遺産に登録された早池峰神楽、鹿踊などの郷土芸能、日本3大杜氏の1つである南部杜氏や国際的なコンクールで数々の受賞歴のあるワインや伝統的なまつりなど、多くの観光資源があります。  
 ・市内には、東北新幹線新花巻駅、東北自動車道花巻インターチェンジ、花巻南インターチェンジ、岩手県の空の玄関口であるいわて花巻空港などがあるほか、釜石自動車道の全線開通により、高速交通網の結節点としての利便性が向上しています。  
 ・日本人観光客を中心として、旅行形態が団体型旅行から個人型旅行へ変化しており、広域的な周遊観光や滞在型観光等、観光客のニーズが多様化しています。  
 ・当市の観光においては、花巻温泉郷等への宿泊者を増加させることが市内への経済波及効果の観点から最も重要となっています。

【課題】  
 ・花巻温泉郷等への宿泊を促すため、宮沢賢治や花巻まつり、自然体験等の豊富な観光資源の組合せによる魅力的で多様なニーズに対応できる滞在型プランの提案が必要です。  
 ・高速交通の結節点としての利便性を活かし、花巻への宿泊を含めた広域周遊プランの提案が必要です。  
 ・国の観光施策が、観光地域づくり法人(DMO)\*による取組に対する支援へシフトしてきていることから、花巻観光振興ビジョンを策定し、観光地域づくりを行うかじ取り役として観光地域づくり法人(DMO)\*登録を目指す花巻観光協会を中心とした観光振興が必要となっています。

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

・市内各所で行われているまつりやイベントを支える後継者・参加者の不足課題解決方法については、今後も主催者、市、出演団体等と協議を重ねていく。  
 ・花巻観光協会はDMOとして売れる地域の観光素材の発掘を担う組織としての活動が期待されるが、花巻・遠野・平泉観光推進協議会の事務局でもあったことから、同協会とともに当市の周辺自治体の観光関係者との連携により、新たな宿泊につながるメニュー開発する取組みを行う。  
 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を見定めながら、東北ディステーションキャンペーン独自の誘客事業の実施により、市内観光関連事業者の収益確保に資するよう市内への誘客促進事業に取り組む。

反映状況

・市内各地のまつりが中止となる中、中止を検討する会議等で、次年度開催への影響を危惧する意見が複数の実行委員会へ出されたことから、山車団体まつり参加継続支援事業を実施し、次年度開催に向けた取り組みを支援した。  
 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、国外、県外からの誘客が難しく、花巻観光協会や宿泊施設が行う、従来の国内外の旅行会社等との連携による旅行商品造成が出来なく、また、造成しても利用されない状況となったことから、国からの臨時交付金を財源として県内客を対象とした宿泊等の利用料金助成事業の実施により需要喚起を行い、一定数の宿泊者数、日帰り入浴者数を確保することが出来た。  
 ・東北ディステーションキャンペーン期間(R3.4.1~9.30)の誘客促進のため、市独自の特別企画として宮沢賢治の本物の雨二モマケズ手帳公開等の開催経費について、令和3年度当初予算に盛り込み、旅行会社や県・東北DC事務局と連携し事前周知に取り組んだ。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 観光資源の充実  
 地域の魅力的な観光コンテンツの創出及び既存の観光コンテンツの磨き上げ  
 ・近隣市町と連携し産業観光や体験型観光をPRする情報発信素材としての動画制作  
 観光施設の整備  
 ・令和5年度のリニューアルオープンに向けた道の駅「石鳥谷」施設再編事業の実施、HACCP対応のための大迫ワインハウス早池峰厨房機器更新他  
 (2) 広域観光の推進  
 ・釜石線沿線自治体等との連携によるSL銀河の運行を軸とした観光PRを行う活性化委員会への支援  
 (3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた観光関係事業者等の支援  
 ・宿泊施設等利用料金助成、物産品キャンペーン実施  
 ・感染拡大が危惧されたGW期間中の休業協力依頼に応じた宿泊施設・日帰り入浴施設、飲食店等を支援  
 ・観光施設等の休館やGW期間中の宿泊施設の休業の影響を受けた事業者を支援  
 ・感染拡大による大幅な需要減による影響を受けた貸切バス事業者のバス維持・整備経費を支援  
 ・宿泊施設や貸切バス事業者が行う感染症対策への支援  
 ・山車団体への次年度まつり参加に向けた継続のために必要な経費を支援

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
観光施設の入館者数	観光施設に魅力を感じて訪れた観光客とし、市が管理する施設への入館者の入場者数	出典：花巻市観光課 毎月調査、報告している観光統計数値(国基準に基づく調査)	万人	目標値				56.60	56.70	56.90
				実績値				34.00		
イベントの来場者数	イベントに魅力を感じて訪れた観光客とし、市が管理するイベントへの入場者数	出典：花巻市観光課 毎月調査、報告している観光統計数値(国基準に基づく調査)	万人	目標値				55.40	55.50	55.70
				実績値				5.04		
広域(花巻・遠野・平泉)観光客入込者数	近隣自治体との広域連携による周遊観光に力を入れていることから、連携している花巻、遠野、平泉に訪れる観光客数を指標に設定	出典：岩手県観光課、花巻市観光課 毎月調査、報告している観光統計数値(国基準に基づく調査)	万人	目標値				586.20	587.20	588.30
				実績値				301.79		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「観光施設の入館者数」・・・【達成C】                      年度当初から5月にかけて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が危惧されたことにより賢治記念館等の教育施設等を休館せざるを得なかったことや、令和元年度まで多数訪れていた海外、県外客が入国制限・往来自粛の影響で大幅に減少した。</p> <p>成果指標「イベントの来場者数」・・・【達成d】                      例年実施されている市内外から来場する多くのまつりやイベントが、感染拡大防止の観点から中止となったことから大幅な減少となった。</p> <p>成果指標「広域（花巻・遠野・平泉）観光客入込者数」・・・【達成d】                      遠野、平泉で例年行われている多くの来場者が見込まれるまつりやイベントが、感染拡大防止の観点から中止となったことから大幅な減少となった。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（観光イベント開催事業費）感染症の変異株による感染拡大の影響から多くの人を集めるまつり、イベントはほとんど中止となった。ワクチン接種の全国的な効果を見定めながら開催の方法も含め都度検討していく必要がある。</li> <li>・（広域観光推進事業費）市内宿泊施設等の感染症対策等の徹底や、感染リスクを抑えたいとの考えから近隣観光地等への旅行を選択した学校が増え、結果、隣県や県内からの教育旅行が増え、前年度以上の宿泊実績となった。新たな需要が生み出されたこと、また、教育旅行は一自治体を越えたコース設定となることが多いことから、当市の大型宿泊施設が多い優位点を前面に打出したPRを行うため、遠野、平泉、奥州と連携した広域での教育旅行誘致に取り組む必要がある。</li> <li>・（観光施設維持事業費）交流会館の計画的な維持修繕を行うことで経費削減に努める必要がある。</li> <li>・（観光・物産事業者等緊急対策事業費）感染状況に応じた誘客対象の見直しを行いながら誘客事業を継続して実施していく必要がある。</li> </ul>
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくりを行うかじ取り役として、令和2年度に花巻観光協会はDMOの認定を受けたが、今後、同協会を中心として、各関係者が連携して観光振興に取り組んで行くこととなるが、関係機関の一つとして市も同協会と連携していく。</li> </ul>

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大前の国内外の団体旅行から、個人、小グループでの旅行にシフトする傾向が強まる中、教育旅行は団体旅行として唯一期待出来る旅行であることから、観光素材が多い遠野、平泉、奥州と連携した広域での教育旅行誘致に取り組む必要がある。</li> <li>・DMOの認定を受けた花巻観光協会の活動を活発化し、稼げる地域となるよう促す必要がある。</li> <li>・感染収束後のまつり、イベントの再開に向け、実施主体と連携して取り組む必要がある。</li> <li>・国内外からの誘客が難しい状況が続いている中、県内を中心とした誘客を行うとともに、感染収束状況を見据えた県外からの誘客事業に取り組む必要がある。</li> <li>・老朽化が著しい交流会館の修繕計画を策定し、維持経費削減に取り組む必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症終息後の教育旅行の需要喚起を行うため、例年の大型の市場である北海道での遠野、平泉、奥州と連携した広域での教育旅行誘致に取り組む。併せて、教育旅行先として選定されるため、SDGsに結びついた魅力的な体験コンテンツの造成に取り組む。</li> <li>・DMOの認定を受けた花巻観光協会の活動を常に注視し、稼ぐ地域となるべき取り組みを行うよう促していく。</li> <li>・市が支援しているまつりやイベントの実行委員会での検討初期段階から情報共有に努め、必要に応じ支援を行う。</li> <li>・感染収束状況を見据えながら、誘客しようとするエリアを意識した事業を継続的に実施していく。</li> <li>・計画的な修繕を行えるように交流会館の修繕計画を作成する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
			直結度		
010	<b>農村施設維持事業費</b> 大迫ふるさとセンター空調設備更新 6,820千円 自然休養村センター耐震補強工事実施設計、耐震補強工事等 21,593千円	大地(商工)	一致	直結	-
				A	
020	<b>観光イベント開催事業費</b> 各地域における祭りやイベントの開催に対する支援 190千円 (支援イベント数 1件、支援イベント入込者数 150人)	観光	一致	直結	C
				A	
030	<b>広域観光推進事業費</b> 北上市との連携による産業観光・体験型観光等の情報発信、釜石線沿線広域エリア活性化委員会が行う誘客事業への支援 660千円	観光	一致	直結	C
				A	
040	<b>観光施設維持事業費</b> 観光施設の大規模改修の実施(大迫ワインハウス早池峰厨房機器更新、花巻市交流会館吸収冷温水機取替業務他 27,929千円)	観光	一致	直結	C
				A	
050	<b>道の駅「石鳥谷」施設再編事業費</b> 令和5年度のリニューアルオープンに向けた道の駅「石鳥谷」施設再編事業の実施(南部杜氏伝承館の曳家等工事・改修設計、酒匠館・りんどう亭大食堂の改修設計、支障物件撤去、事業用地取得等 264,923千円)	石地(商工)	一致	直結	-
				A	
060	<b>地域産業安定化事業費</b> 経営改善事業補助金交付(新型コロナウイルス感染症の影響により見送り)	東地(商工)	一致	直結	-
				A	
070	<b>観光施設等感染症予防対策事業費</b> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が危惧されたGW期間中に宿泊施設・日帰り入浴施設、飲食店等休業協力金を支給 10,500千円 ・宿泊施設、貸切バス事業者が行う新型コロナ感染症対策の経費を補助 8,499千円	観光	一致	直結	-
				A	
080	<b>観光・物産事業者等緊急対策事業費</b> ・宿泊施設等利用料金助成、物産品キャンペーン実施 541,060千円 ・貸切バス維持整備費支援 32,600千円 ・公共、宿泊施設休館の影響を受けた事業者支援、イベント・まつり中止関連支援 20,653千円	観光	一致	直結	C
				A	
090	<b>イベント開催時感染症対策支援事業費</b> 貸出しを前提としたイベント開催時に使用する体表面温度測定器、消毒器自動噴霧器の購入 1,010千円	観光	一致	直結	-
				A	